

今週のセルグループ(赤字)		5月24日(日)~5月30日(土)	
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉	毎日曜日 礼拝後	LINE 電話	5/17 3名 心に閉塞感はありません。主がいてくださるからです。
グレイス 鈴木千姉	5/29(金) 午後8:30	メールで 分かち合い	5/15 4名 敵は夫の背後で働く悪魔なのだと思われ祈りが変えられました。
Gospel 鈴木尚姉	6/6(土) 午後3:00	鈴木尚宅	5/17 3名 自分を捨てて、手を上げ「良くなりたいですー！」と子供のようにすぐに応答したい！
オイコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	5/16 9名 お祈りしました。孤独感は消えて、沈んでいた心がいやされ晴れていくのがわかりました。
からし種 磯貝姉	お休み		
ユース 岩下兄	お休み		
Rock 鈴木洋兄		メールで 分かち合い	5/6 3名 自分が苦手、嫌だ、怖い、と思っている人こそが、私に必要で神様が与えている最善。
シャローム 平岩姉	6/13(土) 午前10:00	LINEで 分かち合い	5/9 3名 セルメンバー一人ずつ集中して皆で祈りあえるのは恵みです。
なつめやし 高橋智姉	5/24(日) 礼拝後	各自の家	5/17 6名 職場で苦手意識があった方が苦手でなくなりました。恐れなくなりました。
リジョイス 杉本姉	お休み		
ジョイフル 穂刈兄	6/4(木) 祈禱会后	Zoomで 分かち合い	5/8 4名 よく人を裁いていると指摘された。そんなつもりはなかったが、実際にはそうだと気付いた。
アガベ 長塚姉		LINEで 分かち合い	5/3 5名 同じ主を礼拝できる事を皆感謝しています。
サクセス 鈴木勝兄	お休み		
リーダーズ セル	お休み		
セル研修	休講		
羊・ビジョン 平岩恵兄・栗永兄	毎日曜日 午後1:00	コメダ	5/17 3名 悔い改め、心の中で攻撃していた相手の名前を思い出せる限りあげて受け入れますと祈った。
worship 長塚寛兄	中止		
中学生 梅田姉	中止		
キッズ2 小山姉	中止		
キッズ1 芳井姉	中止		
Shine 小原姉	お休み		
ギデオン 芳井兄	お休み		
カルバリ 野田兄	お休み		
神の家族 伊岐見真姉	5/24(日) 午後7:30	LINE 電話	5/10 3名 忍耐をもって祈ってあげることをしてなかったです。祈りたいと思いました。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈禱会	
		司会	奏楽		奏楽
今週	5/24(日)		鈴木千姉	5/28(木)	鈴木千姉
		開始時間 午前10時			
来週	5/31(日)		大高愛姉	6/4(木)	大高愛姉
		開始時間 午前10時			

- 祈りの課題
- ・人々の救いを覚えて
 - ▶家族知人をキリストへ
 - ▶教会近隣の人々の救い
 - ▶東海地方の救いのために
 - ▶日本の救いのために
 - ▶世界の救いのために
 - ・働きを覚えて
 - ▶バイブルスタディの働き
 - ▶リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶リバイバルママズの働き
 - ▶那古野アウトリーチの働き
 - ▶祈禱会の祝福
 - ▶日曜礼拝の祝福
 - ▶牧師の働き
 - ・ギデオン協会の働きのために
 - ・セルグループの祝福
 - ▶LIG人生変革グループの祝福
 - ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜)	(第一) 午前 9:00~10:30 (第二) 午前11:00~12:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 9:00~10:30
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:00~12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈禱会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈禱 (土曜)	午前 6:00~ 7:00

主の御手 週報 NO.1296

2020年5月24日(日)発行 5月第4週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始10時

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧になってどうぞ。)
- ・自由献金 (本日は、プレーヤーハウスのための献金が特別にあります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・連絡

お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ [感謝] すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたに望んでおられることです。(テサロニケ人への手紙 第一5章18節)

日曜日は教会へ

主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝

裏方の人

「ヨハネ1：40-42
ヨハネから聞いてイエスについて行った二人のうちの一人は、シモン・ペテロの兄弟アンデレであった。彼はまず自分の兄弟シモンを見つけて、『私たちはメシア（訳すと、キリスト）に会った』と

言った。彼はシモンをイエスのもとに連れて来た。」

登山のロケ

先日テレビで、アドベンチャーレーサーの田中陽希さんが日本の百名山、二百名山などの山を踏破する映像を見ました。切り立った雪山を登って行く映像、そのときの彼の真剣な横顔、その姿をはるか遠く上方から見下ろす映像。すごい！こんなに高くて険しいところを登っているのか、と驚きつつ、ちょっと待って、これ誰が写してるの？一緒に登っているどころか、先回りして撮っているということだよね、と興味がわきました。田中さんはプロのアドベンチャーレーサーなので、コースタイムの半分で登頂してしまうということですから、着いて行くだけでもすごいことだと想像がつかます。調べてみるとやはりスタッフもただ者ではな

く、田中さんと同じスピードで着いて行き、近い距離で撮影しているのは、田中さんと同様に日本を代表するアドベンチャーレーサーであり、引きの撮影をするのは世界的な登山家であり写真家の方でした。ほかにも数名のスタッフが着いて行きます。メインで写るのは、田中さんですが、その背後に精鋭のスタッフがいて、この迫力ある映像が届けられているわけです。

裏方の働き

また、日本伝統芸能の一つ、薩摩琵琶奏者の友吉鶴心（ともよしかくしん）さんという方がおられますが、彼は大河ドラマにも出演したり、芸能に関する指導や考証をしておられます。インタビューで「琵琶という伝統芸能に比べると、大河ドラマは一段低いエンターテインメントではないですか」と尋ねられた時、即座に、「違います。同じです。」と答えられたそうです。たとえばドラマの一コマでは、俳優が演じている背後に木々が映し出されるが、その背後には木々に扇風機で風を送るスタッフがいる、俳優もそのスタッフもその一瞬に命をかける、自分も琵琶演奏に命をかける、だから重要なのは、皆同じなのだということでした。

聖書の中で、パウロは教会を「キリストの体」にたとえました。キリストが頭で、信徒は体の各器官です。そして、「からだ

の中でほかより弱く見える部分が、かえってなくてはならないのです。（1コリント12：22）」と言いました。映像であっても、また教会の働きであっても、一つのものを作り上げる時、表に見えるものだけが重要なのではなく、裏方の働きも表の働きと同じように、またそれ以上に必要であるということでしょう。

アンデレの働き

イエス様の十二弟子の一人であるアンデレは、裏方の役割をした人でした。彼は、はじめバプテスマのヨハネの弟子でしたが、師であるヨハネがイエス様が歩いて行かれるのを見て、「見よ、神の子羊（ヨハネ1：36）」と言ったとき、すぐにもう一人の弟子と一緒にイエス様について行きました。そしてイエス様が泊まっておられるところを確認すると、彼の兄弟であるペテロに「私たちはメシアに会った」と知らせ、イエス様の元に連れて行きました。ペテロに伝道したのは、アンデレだったのです。

また、イエス様が五千人の給食の奇跡をされたとき、イエス様はピリポに「どこからパンを買って来て、この人たちに食べさせようか。（ヨハネ6：5）」と尋ねましたが、アンデレはそれを聞いて、群衆に尋ねてまわったのでしょう。彼はイエス様に、

「ここに、大麦のパン五つと、魚二匹を持っている少年がいます。（ヨハネ6：9）」と知らせました。イエス様はそれを用い

て、五千人の人々に食事を与えたのです。彼はいつも主の働きのために、目立つことなく、重要な役割を果たしていたのでした。

一緒に登ってくださる方

この世のすべてのものを創造された真の神様は、まさにこの世界の歴史の主役であります。この世に起こるすべてのできごとを支配しておられるお方です。決して裏方ではありません。しかし、登山家が険しい山をあえぎながら登るその背後に、それを見守り撮影するスタッフの存在があることを思う時、神様はそのように背後から、また時には先回りして、まるで裏方のように、信じる私たちの人生を導いてくださるのだと思わされました。

私たちの日常は、まるで登山のように困難に満ちています。これを避けて通ることはできません。しかし私たちには一緒に登ってくださるお方がおられることを忘れてはなりません。主はみことばによって慰め、勝利させてくださるお方です。どんな時にも私たちは一人ではありません。主とともに歩んで参りましょう。

「主によって 人の歩みは確かにされる。主はその人の道を喜ばれる。その人は転んでも 倒れ伏すことはない。主が その人の腕を支えておられるからだ。（詩篇37：23-24）」